

牧野記念庭園記念館の展示・普及活動
 —人文・美術系展示を活用した環境教育の可能性—
 Educational Programs at the Makino Memorial Garden & Museum:

草刈 清人*

KUSAKARI Kiyoto*

*ミュージアムプランナー／丹青社：文化空間事業部

[要約] 牧野記念庭園は世界的植物学者牧野富太郎博士が晩年の30年間を過ごした自宅跡で、偉業を記念するため1958年に庭園として整備公開された練馬区の施設である。開園50周年を経過し老朽化したため、建物を立て替え、展示を一新し2010年8月にリニューアルオープンした。

開館後、特別展・企画展を4つ開催し、また講演会、ワークショップなどを実施した。企画展は牧野博士が収集した江戸～明治期の博物画や、押花などを、人文的な視点で展開したものであり、ワークショップもガラス細工、草木染め、押花など工芸的なものを中心にしている。

環境や自然への興味の喚起という点では、こうした人文系美術系の展示や普及活動は有効であり、美術館や歴史系博物館と連携することにより、環境教育の活動をもっと豊かに展開することができるのではないかと考えた。

なお、牧野記念庭園は国指定の文化財（遺跡および名勝地）に指定されている。

[キーワード] 展示、博物館教育、環境教育、牧野富太郎、博物画

はじめに

牧野記念庭園は、開園50周年を経過し施設が老朽化したため、建物を立て替え、常設展示を一新することになり、2010年8月1日にリニューアルオープンした。筆者はリニューアル後、庭園内にある記念館の運営にかかわった。比較的コンパクトな施設であり、まだ練馬区近隣の方々以外にはあまり知られていないと思うので、この機会に環境教育学会の会員の皆様にその概要をお知らせして、活用していただきたいと思っています。この実践を踏まえて歴史系美術系の展示を活用した環境教育の可能性についても少し考えてみたい。

1 施設の概要

牧野博士が「我が植物園」と称した自宅跡をひきついだ庭園の中に3つの建物、すなわち A 記念館 (図1左上 1企画展示室 2常設展示

室)、B 書屋展示室 (図1右上 鞘堂形式で書斎の一部を保存展示)、C 講習棟 (図1の右下 4講習室 5花とみどりの相談所・事務室)がある。花とみどりの相談所は区が直接運営をしており、二人の専門職員が配置されている。



図1 牧野記念庭園マップ (同園パンフより)

2 活動の概要

記念館の学芸職員は記念館内にいて、企画展特別展の準備・運営と、普及活動を担っている。普及活動は主に講習棟を利用している。

花とみどりの相談所は区民からの相談に応えるほか、庭園の植物の解説や、寄せ植え講習会など講習室を使つての活動も独自に実施している。大雑把に言えば、理系の活動は花とみどりの相談所、人文・美術系の活動は記念館が担っている。

以下 記念館の活動について記す。

3 展示活動

展示は普及活動の一つとしても位置づけられるが 牧野記念館の展示には、展示棟に常設展示、企画展示、別棟の書屋展示室（鞘堂）がある。もちろん、庭園も屋外の展示であるので、記念館が実施する普及活動での活用もこれから増えていくと思う。

3-1 常設展示（展示棟 常設展示室）

常設室では 牧野富太郎博士の足跡を、写真、図版、研究資料、調査用具、著作などを通じて紹介している。リニューアル前の展示資料に加え、新たな資料を追加し、新たな展示構成となっている。

今年度は リニューアルオープンの年でもあるので、一部手直し程度で展示替はしていない。

3-2 書屋展示室（鞘堂）

牧野博士の書斎と書庫がそのまま鞘堂の中に保存公開されている。今回のリニューアルに際し、解説パネル、屋敷全体の模型などを追加し展示の充実を計っている。

3-3 企画展示・特別展示（展示棟企画展示室）

展示棟の企画展示室を会場として、今年度は4つの展覧会を開催した。

3-3-1 開館記念特別展

「牧野富太郎の植物画コレクション-服部雪

斎・関根雲停を中心に-」

展示の概要：牧野博士自身も植物画を描いたが、他の植物画への関心も高く、一万点以上のコレクションをしていた。そのコレクションの中から、「動の雲停」、「静の雪斎」と呼ばれる二人の画家の作品を中心に、日本画の特質を活かし、日本人の感性を表現した博物画の世界を紹介する特別展。

会期：2010年8月1日～9月26日（8月30日～9月2日は展示替えのため一時閉鎖）

3-3-2 第一回 企画展

「牧野富太郎の植物標本と現代の押し花一筒井雅代の押し花絵」

展示の概要：牧野博士は研究のため40万点に及ぶ膨大な植物標本（押花）を自宅敷地内の設置した標品館に保存した。首都大学東京に引き継いだ、この標本群の紹介と、工芸の分野で発展させた押花を筒井雅代の作品を通じて紹介する展示。

会期：2010年10月9日（土）～11月7日（日）

3-3-3 第二回 企画展

「明治のミカン図-牧野富太郎の植物画コレクションより」

展示の概要：冬の季節、冬休みに合わせて子供にも親しみやすいミカンをテーマにした。牧野博士のコレクションのなかから、明治前半に描かれた柑橘類の図版約50展で構成。

会期：2010年11月27日（土）～2011年1月30日（日）

3-3-4 第三回 企画展

「サクラに魅せられ-牧野富太郎と川崎哲也」

展示の概要：牧野富太郎と牧野の指導も受けた川崎哲也のサクラ研究について、川崎の「サクラ図譜」の原画、二人の交流を示す手紙などを通じて紹介する。

会期：2011年2月19日（土）～3月31日（木）（3月10～11日は展示替えのため一時閉鎖）

4 普及活動

4-1 夏の活動

4-1-1 開館記念特別展「牧野富太郎の植物画コレクション-服部雪斎・関根雲停を中心に-」
関連活動

4-1-1-1 講演会

「加藤竹斎-幕末から明治初期のボタニカルアートと作家たち」講師 大場秀章（東京大学総合研究博物館特招研究員）

開催日：2010年9月23日（木祝）

4-1-1-2 ギャラリートーク

各回午後2時30分から30分程度 当館学芸員による 展示解説

開催日：2010年8月14日（土）・8月21日（土）・8月29日（日）・9月11日（土）・9月18日（土）

4-2 秋の活動

4-2-1 企画展「牧野富太郎の植物標本と現代の押し花-筒井雅代の押し花絵」 関連活動

4-2-1-1 講演会

「植物標本の作製と標本の意義」講師 菅原敬（首都大学東京 牧野標本館准教授）

開催日：2010年10月30日（土）

4-2-1-2 ワークショップ

「押し花体験会」講師 水口栄子・やまゆり押し花倶楽部 3日間

開催日：2010年10月9日（土）・10日（日）・11日（月祝）、各回午前10時～午後4時

4-2-1-3 小学生向けワークシート

概要：企画展に関連したワークシートと、押し花のしおりをつくる体験（押し花は 4-2-1-2 の指導者による）

実施日：2010年10月9日（土）・10日（日）・11日（月祝）

4-2-1-4 アーティストトーク

企画展示室で押し花作家 筒井雅代氏が展示してある自身の作品などの解説

実施日：2010年10月30日（土）

4-2-2 その他の普及活動

4-2-2-1 講座

「自分で着るTシャツを桜の葉で染めよう」

春田香歩（草木染め行商人）

11月23日（火・祝）

4-3 冬の活動

4-3-1 企画展「明治のミカン図-牧野富太郎の植物画コレクションより」 関連活動

4-3-1-1 講演会

「ミカンのたどってきた道-ミカンの来歴とおいしいミカンの作り方」講師 高木敏彦（静岡大学農学部教授）

開催日：2010年12月19日（日）

4-3-1-2 小学生向けワークシート

2010年11月27日～2011年1月30日までの企画展開催中の土・日・祝日・冬休み

4-3-1-3 ギャラリートーク

12月4日（土）、12月12日（日）、1月15日（土）、1月23日（日）

4-3-2 その他の普及活動

4-3-2-1 講座

植物画（ボタニカルアート）講座 講師 石川美枝子（植物画家）

2010年12月1日～2011年3月16日 第1・第3水曜日 全8回

4-3-2-2 ワークショップ（子供向け）

「やさいのおなかを見てみよう-読み聞かせと実演」講師 林紀子（元横浜市立小学校教諭）

2010年12月26日（日）

4-3-2-3 講座

ダイヤモンドポイント講座 ガラスの小皿に植物モチーフ「スエコザサ」を彫ってみよう 講師 晶阿弥博子（ガラス工芸作家）

2011年1月29日（土）

4-4 春の活動

4-4-1 企画展 「サクラに魅せられ-牧野富太郎と川崎哲也」 関連活動

4-4-1-1 講演会

「サクラを楽しむ一品種と観賞と歴史」講師
横山敏孝(元森林総合研究所多摩森林科学園樹木研究室長) 3月13日(日)

4-4-1-2 小学生向けガイドツアー

読み聞かせ・展示解説(記念館学芸職員担当)と園内のサクラ観察(花とみどりの相談所専門職員が協力)など

3月26日(土)、27日(日)、30日(水)

4-4-1-3 ギャラリートーク(一般向け)

3月6日(日)、21日(月・祝)

4-4-1-4 サクラワークシート(小学校高学年向け) 会期中 土日祝 実施

4-4-2 その他普及活動

4-4-2-1 ワークショップ 1

「自然を編む」関島寿子氏(かご製作者・多摩美大客員教授) 2月27日(日)

4-4-2-2 ワークショップ 2

「春を探して淡彩画を描こう」北村さゆり(画家) 3月19日(土)

5 考察

牧野記念庭園記念館では、植物標本や図鑑用の図版を文化的に評価した企画展を展開した。これに対して講演会では自然史系の専門家に講師になっていただき、内容は可成り専門的であったが好評だった。また、ワークショップでは美術工芸系の内容が多かったが、植物に親しむということでも意味があった。たとえば、ガラスにスエコザサを彫るワークショップでは、帰りに殆どの参加者が庭園の実物のスエコザサを確認して帰って行った。

博物館等での環境教育というと、どうしても自然史系博物館や動物園が中心にイメージすることになると思う。しかし、館園数では人文系施設が圧倒に多い。ここに展開する人文系の展示を環境教育に活用することができるのでないか、旨く使えれば、人文系博物館自体にも新しい魅力を付加できることにもなる。

上野動物園・国立科学博物館・東京国立博物館の三園館連携事業で専門スタッフが別の館の展示動物や作品を解説する試みがあり好評だったと聞いたが、こうした異分野の博物館園の連携も一つのやり方である。

まだ、十分に開発できてはいないが、牧野記念庭園記念館の活動を通じて、人文系・自然史系の連携で、これまでにない、環境教育の場を創出できるのでは無いかと考えている。



練馬区立牧野記念庭園記念館

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 6-34-4

電話:03-6904-6403

入園料入館料 無料

開園・開館時間 9時~17時

(企画展は9時30分~16時30分)

休館日 毎週火曜日 年末年始

(火曜日が祝日の時は翌日)

▶アクセス

- ・西武池袋線大泉学園駅下車(南口)徒歩5分
- ・JR中央線、西武新宿線からバスの便あり